

第8期計画期間中の施設整備について

市内の介護保険施設等の施設整備については、富士見市高齢者保健福祉計画に基づき計画的に整備をしています。令和3～5年度の計画期間である第8期計画に位置付けている新規施設の整備状況（案）は以下のとおりです。

施設の増設は待機者の減少につながるものの、保険料の上昇にもつながることから、中長期的な視点に立ち計画的な整備を行っていきたいと考えています。

<新規施設の整備状況>

(令和4年9月現在)

	サービス類型	施設名	備考
1	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	(仮称) 上沢みずほ苑	令和6年4月開所予定 多床室(100人)
2	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) (地域密着型サービス)	令和4年度に公募を行い、選考委員会で審査 しました。介護保険事業推進委員会での検討を 経たうえで決定していきます。 (令和5年度末に開所予定)	

【第8期計画より抜粋】

117 ページ ④施設サービス

●介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

介護老人福祉施設については、市内4施設が満床となっています。今後の高齢者数の増加や介護離職ゼロの取組みなどにより、入所希望者のさらなる増加が見込まれます。本市でも特養待機者数は増加傾向であるため、待機者のニーズや意向を十分踏まえ、新たに100床程度の広域型特養について整備を進める方向で、県や関係機関と調整を行っていきます。

110 ページ ②居宅サービス

特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）については、高齢の住まい確保の視点や、介護離職ゼロの取組みなどにより、令和3年度に1施設が整備される予定のため、利用者の増加が見込まれます。

113～114 ページ ③地域密着型サービス

地域密着型サービスについては、制度改正や新たな介護サービス事業所の開所、要介護認定者数の増加などにより、今後さらなる利用者数や給付費の増加が見込まれます。このため、第8期計画における地域密着型サービスの整備方針については、サービス類型ごとの空き状況等を考慮し、以下のとおりといたします。

なお、地域密着型サービスの整備にあたっては公募を原則とするとともに、富士見市介護保険事業推進委員会での検討を経たうえで決定していきます。

●認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

市内4施設が満床となっているため、待機者数や圏域ごとのバランス等に配慮しながらニーズに応じ整備を検討します。

<住宅型有料老人ホームの状況>

	サービス類型	施設名	備考
1	住宅型有料老人ホーム	羽沢ナーシングホーム	平成30年7月～開所 住宅型（33人）
2	住宅型有料老人ホーム	ふじさくら有料老人 ホーム	令和4年9月～開所 住宅型（30人）
3	住宅型有料老人ホーム	（仮称） みつばメゾン富士見	令和4年10月開所予定 住宅型（24人）

【第8期計画より抜粋】

95ページ① 高齢者向け住宅の充実

高齢者の住まいの確保として、単に介護保険施設等の供給を進めることだけでなく、身体の自立度や経済状況等も含め、高齢者の多様なニーズに応じた居住の場を自らが選択できるようにすることが求められています。単身高齢者や高齢者のみの世帯の増加が見込まれている中で、食事や安否確認サービスが提供される「住宅型有料老人ホーム」や「サービス付き高齢者向け住宅」の役割は大きくなっていますので、事業者や県などと調整しながら、活用の促進を図ります。

【図表 住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅】

区分	第7期計画実績（見込）値			第8期計画目標値		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設数	1件	1件	1件	2件	2件	2件